

伊豆市を楽しむファミリーのための子育てマガジン

familyizu

ふあみりいず

2025 | Spring

vol.14

- 伊豆市の新施設に行ってみよう 01
- ひと足先に 伊豆中学校潜入レポート 03
- 伊豆市で！親子で！防災キャンプ 05
- パパ座談会 07
- 伊豆市の未来を考える、こんな人 09
- familyizu 活動紹介 10



伊豆市の新施設に行って

テラッセオレンジトイ



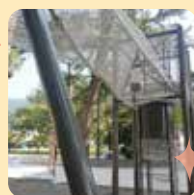
海に直結の津波避難複合施設。防災の役割を担いながら平常時は遊び、くつろぎ、交流できる観光拠点として2024年7月にオープンしました!

地場産品が買える特産市やカフェ、広い足湯のほか、3階にはレストランも♪最上階からは海を一望できて子どもも大喜び。

公園内の遊具も一新され、子どもたちが夢中になって体を動かせるのでおすすめです♪



夕日も
きれい!



足湯
きもちい〜♪



所在地:伊豆市土肥2657-6 松原公園内

問合せ:(株)土肥ノバージョン

TEL.0120-128-223

駐車場:あり(松原公園駐車場/入庫後120分無料)

営業時間:施設は常時オープン/店舗は各店による

入館料:無料

レストランには
お子様ランチも
あるよ

わたしたちが
取材しました!!



中伊豆室内温



クリーンセンターいず



2023年1月に稼働を開始した伊豆市・伊豆の国市の可燃ごみ焼却処理施設。ですが…ただの処理施設ではありません!楽しいキッズスペースと、広々とした芝生広場(夏期はプールも出ます)!1階は飲食OKです。ごみ処理の様子を見学しながら3Rについても勉強できる、内容盛りだくさんの施設ですよ!

所在地:伊豆市佐野456

問合せ:クリーンセンターいず

TEL.0558-99-9292

駐車場:あり(無料)

開館時間:9:00~17:00(12/29~1/3は休館)

入館料:無料



すご〜い!



今年の
夏の様子



みよう!

伊豆市に最近オープンした&近日オープン予定の新施設は、子どもと一緒に楽しめるポイントがいっぱい!その魅力をライターのがつみ、みなみが子どもたちと取材してきました。遊びに出かけてみてくださいね。

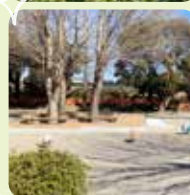
狩野川記念公園



ゆっくりできる「休憩ゾーン」と元気いっぱい動ける「遊びゾーン」に分け、さまざまな方が安全に楽しみ、寛げる公園としてリニューアル! インクルーシブ遊具や芝生の広場もできるので楽しみです!

所在地:伊豆市熊坂512-1
問合せ:㈱サンアメニティー
TEL.0558-72-7379
駐車場:あり(無料)

3月21日(金)10時からオープニング
セレモニーが行われます。
パルーンアートパフォーマーの瞳さん
による素敵な演出も行われます。



わくわく

水プール ふれっぷ

改修工事を終え、4月1日から
待ちに待った営業再開!
大プール・小プール・トレーニ
ングルームと施設の内容は大きく
変わりませんが、キレイになり、
より明るい雰囲気になります。
教室は5月から本格的にスター
トします。



教室通っ
てみようかな

所在地:伊豆市上白岩847
問合せ:伊豆スイムサポート
TEL.0558-79-3107
駐車場:あり(無料)
休館日:毎週月曜日
年末年始(12/29~1/3)

電車だ〜

牧之郷駅前広場



2024年3月に完成した駅の目の前にある
広場。

ソメイヨシノが植えられたお花見ゾーンが
あり、5月~9月には水遊びをすることもでき
ます♪

広々としていて、子どもとお散歩するのに
ちょうど良い広さです。

そして、なんといっても、電車が見放題!電車
好きキッズにはたまらないスポットです。

所在地:伊豆市牧之郷533-1
問合せ:伊豆市都市計画課
TEL.0558-83-5206
駐車場:近隣に有料駐車場あり
※都市計画課に申請すると、イベントなどを
開催することもできます(有料)。



夏は
水遊びが
できるよ



\ひと足先に/

伊豆中学校 潜入レポート

わたしたちが
取材しました!!

いよいよ4月の開校が間近に迫ってきた伊豆中学校。

Familyizuではこれからお子さんが入学!というパパやママのため、完成直後の伊豆中学校校舎に潜入。校舎内のさまざまな秘密と伊豆中学校ならではの魅力をたっぷりお伝えします!



POINT!

伊豆市の森とつながる

ヒノキの香りと温かい色味が迎えてくれる入口。

校舎内はどこに行っても必ずと言っていいほど木の素材が目に入ります。

建設中に置いてあった、たくさんの木材を見た方も多いのではないのでしょうか?

伊豆中学校では生徒の下駄箱や天井などに伊豆市産のヒノキをふんだんに使っていて、子どもたちや来校者は質の高い伊豆市の木材をたくさん感じることができます。



POINT!

仲間とつながる、世界とつながる

■コモンズ

学年ごとの教室の間には、「コモンズ」という新世代型学習空間があります!自由にレイアウトできる机とイスがあり、探究学習やグループワークなど、多目的に活用します。



■マルチメディアルーム

プロジェクターが全方位に配置されており、インターネットを使って土肥小中一貫校と交流したり、世界と繋がることもできます。生徒たちの学びが無限に広がりそうで楽しみです!



いず中カフェで 地域とつながる

伊豆中学校の目標の1つである「社会でよりよく生きていくための力を育てる」。それを象徴とする場所の1つとして「いず中カフェ」があります。道路に面した一番目立つ場所に配置されたこの部屋は、窓も大きく、とても「開かれた」スペースです。

放課後の居場所であるほか、地域人材との交流も想定して作られています。



音楽室は外とつながる

音楽大好き筆者の個人的おすすめポイント！
開放感あふれる音楽室は鏡もあり、パフォーマンスを
チェックできる本格的なスタジオ感。

楽器保管庫から音楽室、そして外のステージへ、移動
も部屋が横並びなので吹奏楽部の楽器移動の負担も最
小限になりました。

いつか音楽室の外で伊豆中生の青空コンサートが開
かれるのが楽しみです！



あらゆる空間が学びの場

生徒の昇降口から入ると目の前には、図書室とパソコン室と視聴覚室が合体した「図書メディア
センター」が！子どもたちが自発的に学ぶことができるスペースです。

ICTの活用はもちろん、日常的に本が目に入ってくるような造りになっているのいいですね！



『プロジェクター型電子黒板』が各教室に

教室の黒板の色はブルーグレー。「あれ？色が薄い？」と
思いますが、実はすごい黒板なのです。

先生が問題をプロジェクターで投影→チョークで解説や
解答を書き込むという使いができます。また、これからのデ
ジタル教科書にも対応しやすくなります。

今まではテレビモニターに映していたので、後ろの席は
小さくて見にくい…が解消されたりします。

発表を伴う様々な授業にも使えてコミュニケーション能
力を鍛えるのにも役立ちそう！！



カウンセリングルームや相談室が 校舎内に5部屋

保健室内、体育館前
など、各所に相談室が
あります。

子どもたちが相談し
やすい環境なのは安心
ですね。



みんなが使いやすい校舎

誰でも使える多目的トイレ

性別問わず使えるトイレは
地域の人が利用するときに使
える伊豆中カフェの近くに。

また、おむつ替え用ベッド
があるトイレやオストメイト対
応トイレも校内にあります。



全面バリアフリー

校内にはほとんど段差はな
く、廊下を広く取ってあるた
め、車いすでの移動もしやす
くなっています。廊下の端か
ら端までなんと約180m。ダッ
シュしたくなっちゃう元気な中
学生もいそうです(´▽`)！



特別支援学級のクラスの エリアには工夫がいっぱい

校舎の北側にある特別支援学級のエリア
には、他のクラスにはない様々な工夫が施さ
れています。



クールダウンできる スペース

入ってみると少し暗くて、
かまくらみたいで落ち着く♡
新しい環境が苦手なお子
さんも周りを少しシャットア
ウトして自分のペースを取り
戻せます。



2階中庭の花壇

「土から離れては生きられないのよ」。
某ジブリの中に出てくるセリフです。
自立活動の一環として行われる学習の中に
園芸があります。これからお花が植えられと
廊下からの景色も華やかになりそうです。

見に行ってみよう！

3月29日(金)・30日(土)に内覧会が行われます。子どもの参観日などでないと、
なかなか入ることのできない校舎を見ることができずチャンスです！
詳しくは、伊豆市ホームページでご確認ください。





伊豆市で／親子で／ 防災キャンプ。



令和6年1月1日に起きた能登半島地震。

地震はいつ起こるか分かりません。

また、局地的な大雨による災害も年々増えています。

災害が起きたら、避難所に避難すれば安心でしょうか？

そんな疑問から、9月に旧湯ヶ島小学校で、実際に避難所に親子で1泊泊まり、防災について考える『防災キャンプ』を実施しました。



食事より大事なのがトイレだった！

巨大地震が来たら、上下水道管が破損して、断水または下水が流せなくなる可能性が高くなります。

また、避難所でも一番最初に対処が必要となります。今回はママ防災熟モルママズの高木さん(長泉町在住)による「赤ちゃんオムツ・猫砂・凝固剤」を使った吸収力実験をしました。そして、実際に水道を断水し、一晩でどのくらいトイレのゴミが出るのかを実験しました。もしもの時に備えて、携帯トイレに慣れておくことが大事だなと思いました。

子連れで仮設トイレに並ぶ苦勞を想像すると家庭内の備えが必須です。

1日1人 **5**回×4人家族×2週間=**280**回分



パック調理に挑戦！

今回、子育て防災アドバイザーをしている高良さん(三島市在住)に講師として参加していただき、耐熱性のビニール袋を使って手軽にできる「パック調理方法」を教えてください、ペットボトル1本分の水で夕ご飯にカレーライスを作りました。(温めの湯は除く)しかし、参加者の中には、普段の食事と味の濃さが違って食べられなかったお子さんもいました。

子どもは食べ慣れた食事しか食べません。普段から食べ慣れているものを用意しておくといことも学びました。



ローリングストック

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ買い足していくことで、常に一定数の食料を家に備蓄しておくといいよ。



参加者からの感想

息子と参加のお母さん

普段から災害時の備えは大事だと思いながら、何を備えたらいいのかわからなかったですが、今回体験ができたのは、とてもよかった。普段と異なる環境で、子どもがなかなか寝付くのに時間がかかった。大人もひとりになるスペースが欲しいと思いました。



子ども3人と両親で参加したお母さん

広さ4～5人用のテントでも2～3人が限界だと思った。あと、子どもたちが自由に遊べる場所が欲しいと思いました。



娘と参加のお母さん

食事の時間が普段と違って戸惑った。
牛乳パックやチラシも緊急時には使い捨て食器に使えることを知り、工夫次第で身近なものが役立つことを知りました。
子どもが好きな果物を持っていたのが、安心感につながった。



講師から

高木さん／ママ防災塾マモルマムズ

自分にとって「これ」という細かい銘柄のものは支援物資には入ってこないで【メガネ・コンタクトレンズ】【赤ちゃんのミルクやオムツ】【生理用品】【薬】【アレルギー対応のご飯】などは日頃から多めに用意しローリングストックで使いながら買い足していくとよいです。ポータブル充電器や小型扇風機、全身が拭けるボディシートなども避難時用にしまっておくのではなく、日常生活（身近で）で使うと、いざという時にも使用に手間取りません。

高良さん／子育て防災アドバイザー

今回は準備ができ、かつ車で移動してこれましたが、実際の災害時は車は使えないことも。徒歩で移動することを想定して荷物を選んでおきましょう。
そして、普段からご近所さんと顔見知りになっておくことも大事です。子どもが迷子になったり、困って泣いていると声をかけてくれる頼もしい子育ての味方になってくれるかもしれません。
また、被災時は、欲しい情報は自分で取りに行かなければなりません。
普段からの挨拶や地域の行事には参加しよう。



「もしも」に備えよう！



今回の防災キャンプは伊豆市危機管理課・湯ヶ島地区地域づくり協議会の協力のもと、実施することができました。地域住民や行政との連携もとても大事になってきます。
また、それぞれの地域で避難場所も避難経路の状況も異なります。日頃からハザードマップや災害時の集合場所や連絡方法などの対応マニュアルを家族で確認しましょう。

パパ座談会

近頃はパパの育児参加が増えていますが、まだまだ「子育て＝ママ」になりがちな誌面に対し、「俺たちだってやってるぞい！」という気概を届けるため、「パパ座談会」と題し、市内のパパたちが子育てや日々の生活について語り合いました。



— 初めましての人もあるので、趣味や職業など、人となりを教えてください。

根岸 趣味は今はランニングですね。仕事はアドベンチャーサポートというアウトドアのツアーをやっています。

斎藤 仕事はカメラマンです。スポーツが趣味でしたが、今はもう見る専門でボクシングとか野球、バスケも見ます。

浅田 仕事が趣味と言ったらカッコいいですけど、家から歩いてすぐのところになわび田があるので、職住合体みたいな感じになっていますね。

関野 趣味は音楽を聴いたり歌ったり。車中ではカラオケ大会みたいな状態になっちゃいます(笑)

杉山 アカペラやフットサルやらを好きでやっていましたが、子ども中心の生活になってからは趣味が自然とフェードアウトしてしまいました。

根岸 前は夫婦でクライミングをやっていましたが、子どもと楽しめるものをやらないと時間を取りにくいので、一緒にランニングするようになって、それが今や自分の趣味となっています。子どもの陸上の大会を見に行ったりするのも面白いですね。

浅田 下の子が少年野球を始めて、土日がほとんど子どもの少年野球に。私は野球を全然やっていなかったのですが、球拾いとか手伝いをやり始めたので、そろそろちゃんとしたグローブを買わないといけないかなと思っています(笑)。他には柔道や習字、水泳を習ってますね。

齋藤 習い事って、自発的に子どもがやりたい言ってやらせてるんですか？それともこういうのやったらいいかなと思う感じですか？

浅田 体験会みたいのがあるよ～って言われて行ったら楽しかったから始めたという感じですね。種目によっては伊東や三島に行ったりとか。皆さんこれからだと思うので頑張ってください(笑)



聞き手 相原和真さん
市役所職員。
上白岩在住。
男の子1人、女の子1人
(3歳、1歳)



浅田芳孝さん
滝尻わさび園代表。
湯ヶ島在住。
男の子2人(小6、小3)

■子どもの習い事＝親の趣味に。

— 習い事はいつから始めているんですか？

浅田 柔道は小学生ですかね。うちは体験会がきっかけでしたが、兄弟がいる場合はお兄ちゃんのマネをして、とか始める理由はいろいろだと思います。親がやらせたいから、というのもあるし。でも合わなかったら最初の頃は1年とかでやめちゃってもいいんじゃないかなって思います。

根岸 僕は習い事でなんかやってほしいみたいのはなく。いわゆるサードプレイスというか、逃げ場としてあったらいいかなとは思っていましたね。

齋藤 学校だけだと限られた人とししか交流できないと思うので、まさにそういう場所で違う学年や地域の子と交流する機会を作っていかないと。うちは妻が盆踊りをやっていたら子どもはずっと踊ってたりするし、親の影響をダイレクトに受けるから、必然的に

子どもがやりたいことと自分が好きなことが結構合致するようになってきていますね。

根岸 昔はそうでしたよね。お父さんがずっと家で野球見てるから、なんか野球がよくなっちゃうし、それはありますよ。

齋藤 だから浅田さんちは全然柔道も野球もやってないのに、お子さんが始めたのはどういう動機なんだろう？って思ったんですよね。

浅田 何だろう？野球はテレビで見てたかな？子どもは割と昔から遊びでやってたみたいで、実はやりたかったのかな？まだまだ上手くないけど、よく続いているな～って。

根岸 伊豆市はどうしても習い事のレパトリーやチームが少なかったりしますが、でも逆に都会だといっぱいありすぎて選びきれないかなって。それなら、ある中で選んでちょうどのかなって思います。それに娘が駅伝チーム入れたのはたぶん伊豆市だったからだと思うので、ちょっとでも頑張ったら舞台に立てるっていう経験をさせてあげられたことの方が重要だったかなとは思っていますね。

浅田 これから部活の形も変わるみたいですね。4月に中学校が新しくできて、うちの子はその新1年生になるので、どうなるかなってというのは楽しみです。



根岸尚宗さん
アドベンチャーサポート
(アウトドアツアー運営)
代表。修善寺へ移住。
女の子2人(小4、年長)

■伊豆市ならではの子育てのメリット。

— 習い事の話が出ましたが、その他伊豆市での子育てはどうですか？

根岸 子育て支援策は、十分だと思います。他を知らないからかもしれないんですけど。どうなんですかね？

齋藤 僕も比べたことはないけど、不満はないですね。ただ、東京で同じように子育てできたかなと思うと、全くできなかったらうなと思います。子どもはやっぱり暴れ回るし、泣き声も結構大きかったりするの。だから今、一軒家に住めるというのはすごくありがたいことですね。車で出かけるというのもきつかったらうなと思って。車がないとどこにも行けないっていうのはもちろんあるけど、逆に車があればどこでも行けるのがいいです。

根岸 医療費無料は他のまちでもやってますけど、それはありがたいなって。

齋藤 仕組みやハードの面はかなり充実してきている感じがしますよね。それと人の面で言うと、近所に共同浴場があって、妻と子どもがよく行ってるんですけど、そこで近所のおばあちゃんに可愛がってもらって。手編みのベストをもらったりと、可愛がられる耐性(笑)がつかしました。これも伊豆市ならではのかなと。

関野 熊坂に引っ越した時に、おもちゃやお菓子をくれる方が結構いて、外で遊んでいると近所のおばあちゃんたちが声をかけて「ここが危ないから気を付けて。」と教えてくれたこともあります。いわゆる人の温かさというか、助けられているところはありますね。

齋藤 自分が一人で移住したら絶対そんなことないですからね。地域の人とコミュニケーション取れる人だったらあるかもしれないけど、僕には絶対無理だったから。

根岸 子ども会に入ったことで、移住者でもなじんでいけたのかなと思います。

■パパの役割。

— 家庭において、皆さんはどんな役割を担っていますか？

根岸 子どもの送り迎えなどだいたい半分ぐらいやってます。料理はほとんど自分がやって、妻はゴミ出しとか子どもの対外的なところ、ママ友にいろいろ聞いたりとか、その辺は得意なのでやってくれています。

関野 夫婦で一通りできるようにしておいて、やれる時にやれる人がやるっていう形で、どうにでもなるようにしてますね。

齋藤 うちも同じで、半々ぐらいかな。料理だけはしないですけど、皿洗い、ゴミ出しもやっぱり分担してますね。ただ、妻はちゃんと子どもを叱った

り、ダメなものダメだって言うんですけど、僕は甘えっぱなし甘やかせっぱなし。だから子育ての甘い汁だけ吸ってただけってよく言われます(笑)。

関野 うちは逆で私の方が叱っちゃうんです。自分の方が母親みたいなの。
杉山 うちも子どもを叱るときは、だいたい叱ってない方がフォローに回ってます。ひとりが寄り添って抱きしめてあげるの大事ですね。家事はきっちり分けていて、洗濯、ゴミ出し、風呂掃除、掃除機は自分で、それ以外は全部やってもらってる感じ。というかキッチンに立たせてくれない。

浅田 私はやれることが少ないので、もう料理なんか完全に任せて。やることだけ、風呂掃除も皿洗いもたまに。送り迎えはできる方がやる。負担かけてるなという気はしますね。皆さんちゃんとやっててすごいなあと。

根岸 料理は自分でやると全部自分の好きなものにできるので、そこがいいですね(笑)。それでも一番悩むのは今日何にしよう？というところ。子どもが朝学校行く前に今日何食べたい？って聞いて、じゃあそれにするかとか。それは無理だな～とかって感じで考えています。そしてうちは圧倒的にパパっ子なので、本当に私を取り合ってくれる。その幸せに浸ってます。

浅田 うちは男2人なので、だいたいママってということの方が多い気はしますね。まだまだ懐いてくれるけど、これから思春期に入ってどうなるのかですね。

根岸 うちは異性なので、そこはもう諦めてますね。
杉山 そう考えると短いですね。べったり一緒にいられる時間って。
浅田 3歳ぐらいの写真とか見ると、こんなに可愛かったんだとって。

齋藤 今、子どもが2歳8ヶ月で本当にめちゃめちゃ可愛いんで、もちろん幸せですけど、もっと幸せな瞬間ってあるかなって考えたら、帰省した時に祖父母やいとこが自分の子どもを可愛がってくれてるのを見ると、すごい嬉しいなって思いますね。僕以外の人が子どもを大切にしてくれる瞬間を見ると、自分がいなくともしっかり生きていけるだろうなと思います。



齋藤洋平さん
カメラマン、デザイナー。
湯ヶ島へ移住。
男の子1人(2歳)

浅田 瞬間ではないけど、この間うちの子が発表の中で、自分の仕事を認めてくれてすごく嬉しかった。仕事が生活と近いところにあるけど、それをどう思ってるのかなってのはちょっとわからなかったから。どうしても高学年ぐらいになると、そんなに話さなくなってくるけど子どもながらにいろいろ考えてるんだなっていうのを感じ取れました。

齋藤 わさびやりたいって言うてくれてるんですか？

浅田 言ってくれた。でも私もそうだった気がするけど、やり出したのは実際30代になってから、とりあえず話半分に聞いています。やっぱり仕事っていうのは自分がやりたいものをやらないと絶対長続きしないと思うので。

杉山 お子さんが継ぎたいって思ってくれるのは嬉しいですね。自分のような事務職はなかなか説明難しくて..見てほしいけどそういうわけにもいかない。

関野 そういう意味だと消防団って子どもを持つと参加しづらい部分もあるけど、消防フェスタとかで見て、かっこいいって言うてくれたりするの嬉しいですね。

杉山 うちも消防で働いている人だと思ってます(笑)。大変だけど、そう言うてくれると嬉しいですね。



関野真人さん
市役所職員。
熊坂在住。
男の子1人(5歳)

■子どもに見せたい姿。

一 皆さんパパ頑張っていますね。今後、子どもに見せたい姿や伝えたいことはありますか？

根岸 いろんなことを面白がってる姿を伝えたい。勉強にしても『すごい面白いじゃん』て。自分がそういう姿が見せられたらなあと思いますね。

齋藤 好きなことやっている、好きなものを好きだって言うていいっていうのを伝えたいですね。自分の妻は鉄塔をめぐるのが好きで、あんまりないジャンルだと思うんですけど、それが仕事にもなりつつあって。自分も壁のポスターが剥がれた跡の写真を撮ったりしているんですけど、そういうよくわかんないことでも好きならやっているといいよ、と伝えたいですね。

浅田 さっき言ったように、仕事を見てくれるのはすごい嬉しいなって思います。田舎で不便だなんていうのは多分感じていると思うんですけど、実際1回外に出てみて、こういうのが良かったんだっていうのを思えるようになってもらいたいかって。今はきっと当たり前前に自然とか人とかそういうのを享受してるけど、これがないところもあるんだよっていう。今誇りを持ってっていうのは多分無理だけど、後で気づける素養ができてると嬉しいかな。

関野 今5歳なので、その辺の草とか穴とか石とかをじーっと見たりとか、拾ってなんか作ってみたりとかやりたがっていて。そうやって常に好奇心を絶やさず持つて、いろんなものを見てもらいたいし、親も一緒になって何気ないものとかを観察すると、実は新しい発見とかあったりするのかな、なんて思います。できるだけ横について、一緒にいろんなものを見ていきたいですね。

杉山 妻の実家が静岡市にあって度々遊びに行くこともあり、長女は向こうの公園や街にすごく興味を持っています。いずれ1回は伊豆市から出て、外を経験して比較してみたいとは思っています。その時までに、伊豆市には浅田さんのわさび生産のような、伊豆の特色を生かした産業で働いている人がいて、ここでもいろいろな選択肢があるんだよっていうのも知っておいてもらいたいですね。普段から将来どういう人になりたい？みたいな話はよくしますが、これからは伊豆で働く人を意識して見せるようにしたいなと思います。



杉山光さん
市役所職員。
修善寺在住。
女の子1人、男の子1人
(小1、3歳)

■奥さんへのメッセージ。

一 お子さんメインで話してきましたが、最後に奥さんに普段言えないけど伝えたいこと。お願いします。

浅田 うちの嫁はすごくいろんなことを頑張っていて、はたから見ると頑張りすぎじゃない？これからどこに向かっていっちゃうの？って思っています。もうちょっと睡眠とって休んでくださいと。子どものこともやれることはやるよと。

関野 うちも似たようなところがあって、平日には家庭教師、個別塾の先生をやって、土日にはマルシェとか生涯学習の講座の先生とかやって、やりすぎじゃない？大丈夫？っていうのは正直ありますね。たまにはゆっくり休める日もあっていいのかなと思いつつ、妻が伊豆市が好きで、いろんなことやってくれてるのはありがたいなと思っているので、ありがとうございますっていうのと、ほどこにやっていますよって感じですね。

杉山 妻は綺麗好きなのところがあって未だに提案できていませんが、子どもも成長してきたので、もっと海の中や森の中に入って泥まみれになるようなサバイバルな遊びをさせてくれ！としたいです。

根岸 一番の友達が妻なので、全て伝えてるので、ないですね(笑)

齋藤 僕は月に1、2回ぐらいは映画行ったりサウナ行ったり、ちょっとした半休みたいなものをもらってるんですが、妻はあんまりやなくて。一人暮らしの時はもう本当に車乗り回して、いろんな鉄塔を見に行ったり映画見たりとかしてたから、遠慮してるんじゃないかなと思って。妻が出張で2泊しない時も、俺必死で一人でやれたから！だから遠慮せず自分の好きなことやっているといいよ、より自分の人生楽しもうよって伝えたいですね。



伊豆市の未来を**考**える、こんな人

登日(トビー)さん



Q1 どんな活動をしていますか？

12年前に日本に来てからずっと、ALTとして伊豆半島内の学校に勤めていました。日本にはきたことがありませんでしたが、知らない土地で自分の未来の新しいアイデアが欲しくて1年間限定で来日する予定だったのが、だんだん延びて気づいたら12年います。(笑)

現在はALTを退職し、伊豆市を中心にフリーで子ども向けの英会話教室や英語の読み聞かせなどを行っています。

Q2 今までの活動で一番嬉しかったことは？

学校や学校外で、伊豆市の子どもたちと過ごす時間は一番幸せでうれしい時間です。

Q3 これからやりたいことは

教育に携わりたいです。

昔と違って今は様々な技術が進歩しています。AIが仕事をする時代ですので、自立的に未来を見る力がないといけなく考えています。

私は幼い頃から、興味のあることは両親がNOと言わずやらせてくれたので、物事に対する視野が広がりました。

これから生きる子どもたちには、私と同じように「好奇心を持ちながら前へ進むこと」が大切だと伝えていきたいです。



インタビューコメント

日本語がとにかく上手で驚きました！来日当初は全く喋れなかったのですが、子どもたちと生活する中でいろいろ教えてもらい、話せるようになったそうです。県外への出張も多かったそうですが、いずっぱこに乗ると安心感を感じるとおっしゃっており、すっかり伊豆市になじんでいますね(*▽*)

ご連絡はこちらの➡
QRコードより
KNBジュニア公式へ



伊豆市で障がいのある子どもを育てる親の会 ひだまり 岩本さん



Q1 どんな活動をしていますか

伊豆市で障がいのある子どもたちを育てる親の会を運営しています。現在4歳～20歳のダウン症、重度心身障がい、発達障がいのある子どもたちとその兄弟姉妹、12組のご家族がメンバーです。

発起人は、私より少し前に市内で障がいのあるお子さんを育てていた先輩ママです。産後、悩みを相談できる仲間がなくて辛かった経験を、後輩ママにさせたくないという想いがあったと聞きました。団体名には、ぽかぽかと暖かいひだまりのような場所という意味が込められています。

現在の活動内容は、グループLINEでの情報交換、生きいきプラザでの交流会、行政への働きかけなどです。

Q2 今までの活動で一番嬉しかったことは？

子どもたちの成長を共に喜べること。ひだまりの声が市政に届いて、後輩ママから「ここは変わりましたよ」と言ってもらえたときはとても嬉しかったです。

Q3 これからやりたいことは

他市に比べ、発達に関して相談できる場所や利用できるサービスが少ないのが現状です。障がいのあるお子さんだけでなく支援が必要なお子さんとそのご家族が、住みやすいまちになるようにできることを続けていきたいです。

※岩本さんとお話してみたい方は、子育て支援課へご連絡ください。お繋ぎします。



インタビューコメント

岩本さんや、ひだまりの会のママさんの話を聞いて、医療や療育が充実し、まち全体が助け合うことが大切だと感じました。わが子の発達に不安がある、誰かに相談したい、というときにこういったグループがあると安心ですね。

☆市内でこどもの発達について相談やサービスを受けられる場所

■児童発達支援センター「おひさま」

●児童発達支援 ●保育所等訪問支援 ●相談支援

場所：伊豆市加殿22-1(修善寺東こども園内) 電話：0558-73-1160

■総合サポートセンター「みつばち伊豆」

●放課後デイサービスみかん

場所：伊豆市日向364 電話：0558-79-3632

※サービスの利用には受給者証が必要な場合があります。

令和6年度

familyizu 活動紹介

ふぁみりいず

写真講座

7月6日(土)、カメラマンの齋藤洋平さんを講師にお招きし、講座を受講しました。市民の方にも募集を募り、当日は子どもも含め20名ほどが参加。撮影のテクニックや心構えを学びました。当日の様子は、Instagramで記事を投稿していますのでご覧ください。



ライター講座

7月11日(木)、ライターの松山史恵さんを講師にお招きし、講座を受講しました。記事を書くときの基本や技術的なポイントを学び、目を引くタイトルのつけ方などのアドバイスをいただきました。



いずっこフリマ

7月21日(日)、クリーンセンターいずに開催。パママライターも運営協力しました。来場者160名以上!フリーマーケットをはじめ、移住コネクターの力もお借りして、受付やアナウンスなどのお仕事体験も楽しんでもらうことが出来ました。



ママ記者(伊豆の国市)との交流会

10月10日(木)、伊豆の国市のママ記者と交流会をおこないました。活動に参加し続けている想いや今後発信していきたい子育て情報コンテンツなどの情報交換をおこないました。今後も切磋琢磨しながら情報発信をおこなっていきます。



いずっこスマイルタウン

11月4日(月・祝)、生きいきプラザにて開催。パママライターは、『写真館』を運営しました。大勢の親子連れに参加いただき、たくさん笑顔を見ることができました! 皆さんにも、笑顔をお届けします♪



伊豆市を楽しむファミリーのための子育てマガジン

familyizu ってなあに？

ふあみりいず

familyizu は伊豆市の魅力がたっぷり詰まった子育て情報誌です。
伊豆市で子育て中のパパやママがライターとなり、お出かけスポットや
イベント情報、子育てのコラムなどリアルな情報をお届けしています。
情報誌は年1回発行、Instagramでは毎週金曜日に発信しています。
伊豆市に住んでいる方も、伊豆市に住んでみたいな～と思っている方も、
ぜひご家族でご覧ください！



バックナンバー
こちらからご覧いただけます。



Instagram
フォローをお願いします。



こんなメンバーで作っています！



けいこ

野球大好きな小3男子とボケカをこ
よなく愛する小6男子2児の母。
familyizu編集者になって早6年。当
初小学1年生だった長男は4月から
新中学校に入学します。子育てはあっ
という間に過ぎていきます。ぜひ思
いっきり子育てを楽しみましょう！



なつみ

虹の郷と鉄道が大好きな3歳男子の
ママ。
虹の郷の汽車の名前もひとつひとつ
覚えてしまうほど鉄道好きな息
子。お休みの日は虹の郷に行ったり、
電車でお出かけをすることが多いで
す。私自身も生まれ育った伊豆市で
息子の笑顔をたくさん見れること
を本当に嬉しく感じます。



みなみ

6歳、4歳男子の肝っ玉母ちゃんを
やっています。
家にいると100%兄弟げんかが勃発
するので、休日は地域のイベントや
楽しい場所を探して出かけるように
しています。海が大好きですが、次男
にもう少し体力が付いたら低山ハイ
キングもしたいな～とたくらみ中♪



あやばり

帰宅すると抱っこで充電する5歳男
子のママ。
近隣のイベントに出だし、カラーセ
ラピーやアート体験を提供してい
ます。お腹の中にいる時から活動し
ていますが、出店時に息子が手伝うよ
うになり、「ママのお店手伝ってあげ
る！」の声に毎回感激。いつか伊豆市
で3世代が楽しめる子育てイベント
の企画に携わるのが夢です。



ゆいこ

5歳・2歳・1歳のおてんば3姉妹のママ。
職業柄、他の地域のママたちとも繋
がっているからこそわかる伊豆市の
良さを、もっともっとたくさんの方
たちに伝えていきたいです。
子どもたちみんなが「伊豆市は楽し
い！」と思える場所になるよう、今でき
ることを一生懸命やっています！



よしえ

サッカーが大好きな、小4と年長男子
のママ。
仕事と習い事の送迎で慌ただしい
日々を過ごしていますが、子どもた
ちの頑張る姿にいつも元気をもらっ
ています。次男は春から小学生！勉
強も始まるので、地域の様々なス
ポーツや魅力等も知って、伊豆市の
ことをもっと好きになってもらえら
れ嬉しいです！



まさto

なんでも仕組みが気になる(きつと)
理系な5歳児と日々奮闘中。
子供の好きなことに楽しみながら振
り回されています笑



あやか

恐竜大好き3歳男子、いつでもおてん
ば1歳女子のママ。
慎重派で控えめなお兄ちゃんに、す
く突っかかる娘を止めることで精一
杯の毎日で、趣味の旅行もなかなか
行けず過ごしております。でも、ふと
外を見れば自然が美しく、心が洗わ
れる景色がそばにある伊豆市ってい
いなと子どもが産まれてから気付か
れました。



カズMAX

守りの3歳男子と攻めの1歳女子の
パパ。
子どもたちの「なんでこんなことす
る！？」という謎行動に悩んだり、た
まに見せる大人のような振る舞いに
感動したりと感情の忙しい日々を過
ごしています。子どもたちが食卓の
下に落とした食べ物を拾うのが日課
で、いつか家族全員で落ち着いてご
飯を食べるのが最近の夢です。

パパママライター随時募集中！



familyizuでは随時パパママライターを募集しています。
特別なスキルは必要ありません！
「伊豆市での子育てをもっと楽しみたい！」「新しいことに
挑戦してみたい！」「地域に貢献したい！」など、familyizu
の活動に興味を持っていただけましたら、お気軽にご連絡
ください。

お問い合わせは
子育て支援課へ電話、
またはfamilyizu
InstagramのDMへ

皆さんの声を聞かせてください！

皆さんの声を参考にfamilyizuはこれからも進化して
いきたいと思っています。

今号やInstagramについて、皆さんの感想やご意
見をぜひお聞かせください。



右のQRコードから
アンケートにご協力を
お願いします。



今号の表紙

7月にオープンした『テラッセ
オレンジトイ』に行ってきました。
「こんな構図で撮りたいな」と構
想はありましたが、集まってくれ
た男の子5人は元気いっぱい！
あちこち駆け回っていました！
わちゃわちゃ楽しい感じ、伝わっ
て来るでしょうか？(笑)